九州・沖縄ブロック秋田県人会だより　第34号(2025年7月発行)

心をひとつに

秋田県人会 九州・沖縄

題字：ばんば三郎

福岡から玉川温泉へ通う兼業農家



福岡県糸島市で兼業農家を営むHさんは、近所の方に玄米30キロを1万円で販売しています。コメの値上がり、品不足の中でも値段は変わりません。周囲の田んぼに比べて一目で違いが分かる手入れの良さ。

そのHさんは毎年2回、秋田県仙北市田沢湖の玉川温泉に通っています。冬場を除いて福岡から羽田経由などで秋田空港に行きレンタカーで更に約2時間、片道6時間以上かけて通います。ここで2週間から3週間、滞在しますが、同行した家族はコンビニもスーパーも何もないと嘆くそうです。

長野県茅野市の諏訪中央病院名誉院長で北九州市のアドバイザーなどを務める鎌田實（みのる）医師（76歳）が玉川温泉を訪ねました。

そこは緑が剥ぎ取られて、白っぽい砂と灰色の岩が折り重なった荒涼たる世界です。火山のような噴煙が噴き出し、中央を流れる小川には、黄色い沈殿物が妖しく揺らいで見えます。緑といえば、わずかの隙間に雑草が生えている程度です。四方を取り囲んだブナの深い緑の帯とは対称的に、この谷間はまさに「賽の河原」さながらの光景でした。

周辺には何人もの方が寝転んでいました。岩盤浴へ行く人々の通路です。この道でゴロゴロ寝て蒸気を吸っている人たちは、多分肺がんの方たちだと思います。ここの空気はラジウム放射の濃度が高いといわれています。

「あんたはどこさ悪いの？　こりゃあ、随分と時間がかかるべ。向こうに、もっとポカポカすっところがあっから行ってみーべ？」山形なまりが強く残った、人懐っこそうな桜井登さん（69歳）でした。桜井さんに誘われて少し離れたところで2人並んで岩盤浴をすることにしました。しばらく寝ていると、確かに岩の底から熱が伝えられ、背中がほかほかしてきます。

「がん患者さんが多くなりだしたのは10年ぐらい前からですね。NHKのドキュメント番組で取り上げられてからです。それが次々に口コミで広がっていったのです。」玉川温泉社長の工藤肇さんはそう言います。

湯治客の世話をしている看護師の阿部洋子さんの話も聞きました。「体力がなく、食べられないとか、病院で点滴していたがそれがいやで逃げ出してここへ来る人もいますが、そういう方はやはり具合が悪くなって熱が出たりしています。田沢湖の町立病院まで救急車で運び治療してもらっています。そういう重症の方は月に15人ぐらいいます。岩盤で転んだり、風呂場で滑って怪我する人が多いです。

子宮がんの女性が大量出血し動けなくなった人もいます。まだ若い、35歳ぐらいの方でした。心臓マッサージをしながら町立病院まで送って行きましたが、その甲斐もなく、間もなく亡くなられました」。やはり玉川温泉といえども、温泉の力でがんが消えたり治ったりするといった奇跡は起こらないようです。



玉川温泉

その日は、実にさわやかな秋晴れでした。

その開放感もあるのか、露天風呂の女性はお腹をむき出しにし、ぼくに何度も胃の手術の傷痕を見せてくれるのです。診療室では女性の裸を見慣れている僕も、ここではちょっとたじろぎます。

露天風呂の縁に座って足湯をしながら彼女と話していると彼女から「一緒にお風呂に入りましょう」と誘われました。

足湯だけでタジタジになっている僕を見た彼女は痺れを切らしたのか、あっけらかんとハダカになってドボンと露天の湯の人となったのです。うろたえました。しかし、後で振り返ってみると、気恥ずかしく思った僕のほうが、恥ずかしい思いがしました。

女板前、列島を南に北へ



福岡･秋田県人会、会員の塚本真樹子さんは、能代市出身で54歳。数少ない女板前です。現在、宮城県の松島湾を望む絶景の宿、「新富亭」で料理長として厨房を仕切っています。

1997年（平成9年）調理師免許を取得以来、秋田を振り出しに熊本、大分･湯布院、福岡･春吉夢月、広島･長笹楽山、男鹿･雄山閣、花巻･愛隣館と包丁1本の旅を続けています。

福岡市の店ではキリタンポ鍋も取り入れ県人会の理事会も開かれました。得意なのは創作料理、温故知新に洋食も取り入れています。夢は子ども食堂。幼い子どもから、お年寄りまで集まる場所を確保し、大鍋でカレーや豚汁を振舞いたいと考えています。最近、気になっているのは能代にいる両親の事。高齢になりました。自分が世話をしながら描いている夢の仕事が出来ないかと思っています。

ボンネットバス「昭和ロマン号」



大分県豊後高田市、昭和の町を走るボンネットバス「昭和ロマン号」です。

このバスは、1957年に製造され羽後交通が路線バスに使っていました。

その後35年以上、放置されていましたが、豊後高田市が広島県福山市にある自動車時計博物館に修復を依頼し、2009年から「昭和ロマン号」として使っています。「昭和ロマン号」は、豊後高田市が今年1月から錆の除去や再塗装を施し、3月にお披露目しました。

昭和の町は昭和30年代をテーマにした懐かしさが溢れる商店街です。「昭和ロマン号」は、毎週日曜日に商店街を15分かけて、ゆっくり周遊しています。今年は昭和100年に当たります。

佐賀県青春寮歌祭から熊本秋田県人会へ梯子



11月16日佐賀市交流センター（エスプラッツホール）で第32回佐賀県青春寮歌祭が開催され、北は北海道大学から南は鹿児島大学まで、22校の同窓生が参加しました。

秋田大学は4名の卒業生がヘルメット、キャップランプ、バッテリーを着用して参加し、秋田鉱山専門学校校歌と北光寮寮歌をアカペラで歌いました。

秋田大学北光会九州支部の瀬戸信吾･支部長は、まず、鉱山専門学校から鉱山学部、更に国際資源学部、理工学部と名称を変えて来た事を紹介しました。その上で、TBS日曜劇場で放送中のドラマ「海に眠るダイヤモンド」の舞台、長崎市港外の旧･端島（はしま）炭鉱（通称：軍艦島）で多くの卒業生が働いた事を紹介しました。

佐賀県青春寮歌祭には以前旧制高校の卒業生も参加していましたが高齢化で難しくなりました。この寮歌祭を一手に取り仕切る北大卒の大宅公一郎さんも、檄文の中で自らが男性の平均寿命に近づいたと述べ、各大学卒業生に若い方の参加を呼びかけました。

同じ日の午後6時から熊本市西区田崎本町の居酒屋、「田崎酒場よいち」では熊本秋田県人会の懇親会が開催されました。

参加したのは男性6名、女性5名の計11名。初参加は塚田真由希さんと玉井摂太郎さんでした。熊本市出身で秋田市市議会議員、飯牟礼克年さんのお母さんも参加されました。ご主人を含めて熊本秋田県人会に加入しています。遠方からは佐賀秋田県人会の世話役明石穣さん、福岡･秋田県人会理事の村木千隼さん、同じく福岡から三浦一隆さんが駆け付けました。三浦さんは、同じ日に佐賀市で開催された佐賀県青春寮歌祭に参加した後、熊本に向かうという、ハードスケジュールの遠距離ダブルヘッダーで、高速バスで往復されました。

秋田県人沖縄会、福岡・秋田県人会が新年会で連携



福岡秋田県人会新年会

1月25日、秋田県人沖縄会がダブルツリーbyヒルトン那覇首里城で新年会を行いました。10人が集まり　久しぶりに会う方もいらっしゃって昔撮った写真を持ち寄り思い出話に花を咲かせました。来週は、宮城敦子さんと安部正夫さんがお邪魔します。

2月1日、福岡市中央区住吉の居酒屋・ほろ酔い処、「住吉」で福岡・秋田県人会の新年会を開催しました。秋田県人沖縄会の宮城敦子・副会長と会員の安部正夫さんを含む14名が集まりました。

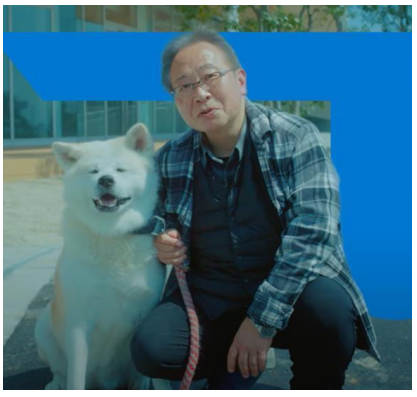
今野正春・会長から沖縄の二人を歓迎する挨拶があり、宮城さん安部さんからも一言がありました。
新年会の案内には今回35名から近況が寄せられました。
・由利本荘市の実家が空き家になりました。古い家がこの冬を越せるか心配ですが、6月には法事で帰省します。
・昨年10月、80歳の同窓会があり、石坂洋次郎の「山と川のある町」横手に帰り、あの人、この人、抱き合いながら交流を深めました。90歳の兄、その兄を支えてくれるお姉さんに温かく迎えられました。
・幼い頃、泣きながら県人会に参加した長女が4月から1年生です。現在、妊娠中で春に出産予定です。
・大館から連れて来た秋田犬「あこ」も今年は9歳。シニア犬の仲間入りですが、のんびり過ごします。身近な人達がコロナやインフルに感染しましたので今回は自重したいと思います。 という近況でした。

秋田県人沖縄会、4月模合



4月26日（土）那覇市前島の「花より」で月例の模合をしました。
会長の宮城由美子さんを中心に、今回はご両親が秋田出身という豊村さんが参加しました。中牟田吉太郎さんは初参加です。
中牟田さんは、秋田・福岡・沖縄で事業を展開しています。沖縄での事業は沖縄県・北部の国頭村（くにがみそん）で始めた乾田直播（かんでん・ちょくは）です。
これは「ひとめぼれ」や「ななつぼし」などの水稲の種もみを乾いた土の上に直接、播いて稲を育てる栽培法です。すでに北海道で技術を蓄積しており、温暖な沖縄では年に複数回、収穫できるということで、1回目の収穫が7月にも予定されています。中牟田さんは、しっかり育てて美味しく安いコメを作りたいと言っています。

道の駅、駅長を3駅目の山崎さん



秋田県男鹿市の「道の駅おが（オガーレ）」の初代駅長を務めた山崎宏幸さん（68歳）が、4月から佐賀県三養基郡上峰町（かみみねまち）にオープンした道の駅「かみみね」の駅長になりました。（オガーレ）から連れ来ている秋田犬「つばき（雌5歳）」も一緒です。　　。
山崎さんは福岡県宗像市の道の駅「むなかた」で駅長を10年間務め、「むなかた」の売り上げを九州で1番に育て上げました。
その手腕が買われてヘッドハンティングされ、2017年から4年間「道の駅おが（オガーレ）」の駅長を務め黒字化しました。「オガーレ」では看板犬として秋田犬「つばき」と共に暮らし、秋田を離れる時には山崎さんに懐く「つばき」も連れて九州に戻りました。
九州では、実家のある宗像市から大分県日田市、宮崎県小林市と道の駅を手伝いながら移り住みました。駅長は「むなかた」「オガーレ」に次いで3駅目です。ここは、大型スーパー・イオンが撤退した後、上峰町が中心になって住宅や体育館、図書館などの整備を進めています。街の名称も山崎さんと生活を共にしている秋田犬と同じ「つばき・まちづくりプロジェクト」です。山崎さんは秋田犬「つばき」をお嬢さんと呼んでいます。

福岡・秋田県人会、2025年度総会開催



福岡・秋田県人会の2025年度総会が4月19日、博多駅近くの八仙閣本店で開催されました。会場には北九州市の菊地さんや熊本市の西里さん、水俣市の長谷川さんの遠来組を含め17名が出席しました。

初参加は、川村正伸さん48歳です。川村さんは、アスリートのトレーニング技術を米国の大学で学んだあと、秋田市で13年間トレーニングジムを経営し、プロバスケット選手やサッカー選手のトレーニングを担って来ましたが、このほど福岡に新天地を求めて、やって来ました。

また、会員の菊地公平さんは今年1月の北九州市議会議員選挙に立候補し初当選されたことを報告しました。奥様のお父さんから地盤を受け継いでの立候補でした。銀行勤務や市役所職員などを経験しています。菊地さんは山本郡八峰町出身の46歳、高校、中学、小学校の3人のお子さんがいます。

今回は、104名の会員に往復ハガキで案内を出し、45名から返信を頂きました。欠席の返信には新知事にお会いしたかった、とか用事で参加出来ない事をお詫びする文面もありました。

総会は、会長の今野正春さんの司会で始まり、昨年度の事業報告、会計報告に続いて今年度の事業計画が説明され、いずれも賛成多数で承認されました。事業計画では例会を兼ねたレクリエーションや女性だけの食事会、出張「キリタンポ鍋っこ会」などを予定しています。暫くぶりに参加した三浦明彦さんから県人会運営について多くのアドバイスがあり、その三浦さんの博多一本締めでお開きになりました。

福岡・秋田県人会35年史、QRコード
2022年に制作した13分程の動画です。QRコード・リーダーで読み取って下さい。

福岡・秋田県人会が6年ぶりのキリタンポ鍋っこ会

連休初日の4月26日（土）午前11時から福岡市城南区七隈（ななくま）の徳常寺・門信徒会館でキリタンポ鍋っこ会をしました。朝から晴天に恵まれたこの日、会場には、大分県宇佐市や福岡県田川郡福智町から秋田犬保存会の協力で、生後2か月の秋田犬の子犬4頭がケージに入って到着しました。

門信徒会館は広い会議室や厨房などを県人会理事の福圓さんのご縁から無償でお借りし、午前9時から会長の今野さんのレシピでキリタンポ鍋つくりが始まりました。キリタンポは会員の菊地公平さんの実家から取り寄せ、セリやゴボウ、鶏肉などは福岡で調達しました。



会場には神戸市から駆け付けた元会員の三浦明宏さんや、近隣の自治会などから家族連れなど約150人が詰めかけ、大盛りのキリタンポ鍋を1杯500円で販売を始めると長い行列が出来ました。会員の三浦明彦さんは、自前のナマハゲの面を含む装束一式を車に積んで訪れ、小さな子供たちを驚かせました。

また、会員の西山さんは、かつて大館市で地域起こし協力隊として生後間もない秋田犬「あこ」と過ごし、福岡県春日市に戻った方で看護士をしています。

この日は、8歳になった「あこ」を連れて会場を訪れ、大人しく、やさしい「あこ」に訪れた方が触れたり写真を撮ったりしていました。

キリタンポ鍋っこ会は、コロナなどで2019年から中断していました。それまでは東北芋煮会として共同開催していた、岩手・宮城・山形・福島の各県人会からも会員が訪れ差し入れなども頂きました。会場では、秋田の日本酒飲み比べやイブリガッコなどの物販もあり、訪れた方が買い求めていました。福岡・秋田県人会は、今回の成功を踏まえて、これからもキリタンポ鍋っこ会を続けて行きたいと言っています。

白神山地の斎藤栄佐美さん、山菜は「こでられね！」

秋田県山本郡藤里町で白神山地の自然アドバイザーを務める斎藤栄佐美（えさみ）さんが5月15日（木）午前5時半過ぎのNHKラジオ第一、マイあさ！に登場しました。斎藤さんは、この番組の常連リポーターです。

秋田訛りを少し残し、白神山地に相応しい柔らかな雰囲気を持った方です。昨夜はカエルの大合唱だったという斎藤さん。白神山地は山菜の季節と紹介されました。

ホンナ、しどけ、うど、わらび、あいこ、わさび、タラの芽、こしあぶら、ミズ、こごみ、ふきのとう　は「こでられね！」と全部食べたそうです。これから根曲がり竹の季節になるそうです。



鳥達も暖かい東南アジアから渡って来ました。ツバメ、ツグミ、アオバト、ホトトギス、アカショービンを挙げ、斎藤さんは「アオバト」と「アカショービン」の鳴き声を見事に口で真似ました。森を歩けば毎日、聞こえる春を奏でるメロディーです。

山と森も徐々に緑が上がって来ました。標高600mまで萌黄色です。残雪が締まって歩きやすいそうです。ブナの根元は値開き、根あき、根回り穴の季節です。ブナの幹の熱が周囲の雪を溶かしブナの魂、熱い息吹を吹きかけて行きます。麓から芽吹いて山を緑に染めて行きます。緑が走って行きます。ブナの「峰走り」、10日ほどで山は緑の帽子を被ります。去年はブナの実が豊作でした。根元は実生を敷き詰めたようになってブナの赤ちゃん達です。めんこい、生き物のバトンタッチです。

そーはく、ライブ目白押し



福岡・秋田県人会の会員でそーはく（伊藤和憲さん）のライブが目白押しです。

写真は左側が「そーはく」秋田市新屋出身、福岡県筑後市でギター・ウクレレの弾き語り教室を開催中です。

右側は福岡県うきは市生まれ沖縄県南大東島育ちの三線シンガー沙織さん。歴代最年少で三線（さんしん）教師免許を取得し、福岡市や久留米市で三線教室を開講しています。南北両極端のコンビが沖縄の風、癒しの歌声を届けています。



右の写真は、今年2月に福岡県久留米市の酒蔵で開催されたライブです。

二人のライブ予定です。

○　7月 9日（水）11:30久留米シティプラザ3階久留米座
○　7月12日（土）筑後市若菜公民館は、そーはくソロ
○　7月20日（日）14:20福岡県大野城市、第2回おきなわ祭り
○　8月31日（日）13:00柳川市、水都やながわ

なお、そーはくには、昨年11月9日、第1子、女の子が誕生しています。

ノースアジア明桜高校出身の新戦力と応援する会



北九州市八幡東区に本拠地を置く社会人野球チーム、GENESISに4月からノースアジア大明桜高校出身の伊藤天真投手が加入しました。

伊藤投手は2005年11月9日生まれの19歳。大仙市立協和中学校から明桜高校に進みました。明桜高校卒業後は同じく社会人野球で秋田市のゴールデン・リバースを経てGENESISに加入しました。

右投げで身長173cm、体重65kg。変化球の制球に優れ、どの場面からでも試合を立て直せる頼りになる右腕です。10代ですがマウンドさばきが落ち着いています。

伊藤投手は、普段はNTTグループの会社でコールセンターの仕事をしています。その伊藤投手を応援する会が5月20日に福岡市で開催されました。

会場は中央区渡辺通のホルモン料理店。伊藤投手を中心にGENESISで少し先輩の選手2名と、応援する会の呼びかけをした新体操の指導者で福岡・秋田県人会の高橋亜季さん、スポーツトレーナーの川村正伸さん、湊博明さんなど計10名が参加しました。今後の目標について、投手としての実力を付け、出来れば北海道・日本ハムファイターズに入団したいと抱負を述べました。

今回の応援する会には秋田市飯島毅丁の雲祥院住職・関口覚さんも駆け付けました。関口さんは、伊藤投手の母方の祖父に当たります。その雲祥院は、1945年8月14日、米軍機が秋田市土崎港の日本石油製油所（当時）を空襲した際、爆撃を受けた戦災寺院です。寺院に残る地蔵さまは爆撃で首が削ぎ取られており、「首無し地蔵」として学校の授業でも取り上げられています。250人の犠牲者を出し、日本最後の空襲と言われた「土崎空襲」から今年は80年の節目になります。関口さんは今年76歳、いくつかの、ご病気を克服され、この日も般若湯（熱燗の日本酒）を嗜んでいました。

秋田県人沖縄会、秋田県慰霊碑「千秋の塔」へ

6月23日は沖縄慰霊の日です。糸満市摩文仁の丘の平和祈念公園では、沖縄県主催の沖縄全戦没者追悼式が開催され、沖縄は平和への祈りに包まれます。

沖縄県民の4人に1人が命を落としたとされる沖縄戦が終結した日です。今年で80年が経過します。

秋田県人沖縄会は、一足早く6月9日に宮城由美子・会長を始め3名の会員が摩文仁の丘にある秋田県の慰霊碑、「千秋の塔」を訪ねました。花を手向けて改めて平和について考えました。沖縄は8日、梅雨が明け、真夏の太陽が照り付けていました。



沖縄

秋田県人沖縄会は毎月第4土曜日18時が月例の模合です。
場所は、那覇市前島2－5－14
「花より」、電話098-862-3051です。

福岡・佐賀・熊本

福岡・秋田県人会、熊本秋田県人会、佐賀秋田県人会のイベントなどの予定は、決まり次第、お知らせします。

福岡・秋田県人会の会員の皆さんへ年会費（1,000円）の納入のお願いです。
振り込みに、ゆうちょ銀行を利用する時は、
記号　17410 番号　47046051
福岡・秋田県人会　宛

他の金融機関からの振り込みの時は、
［店名］七四八（読み　ナナヨンハチ）
［店番］748［預金種目］普通預金［口座番号］4704605です。



募集

九州沖縄秋田県人会だよりへの投稿をお待ちしております。
宛先は、o-nakamura@mms.bbiq.jp　です。

会報へのご意見、ご感想、投稿をお願い致します。